

人並みの生活へ改善こそ

東京で緊急集会 自公政権に反撃

生活保護制度の大改悪許すな。中央社会
保障推進協議会（中央社保協）は17日、東京
都内で緊急集会を開きました。厚生労働省が
前日、生活保護を受けにくくして、保護基準
引き下げを強くしました二つの報告書案を

示しました。これに対して、全国から駆けつ
けた100人を超える参加者は「人権侵害を
許すな。国民全体の生活に影響する大改悪は
断固阻止する」と、自公政権に反撃の狼煙を
あげました。

離婚、非正規労働、無年金
など女性の貧困と一体なの
が生活保護問題。引き下げ
ではなく、制度の改善を厚
労相に強く要請した。

全労連の岩橋祐治政策総
合局長は「生活保護の改悪
は、これから行われる社会
保障全面改悪の突破口だ。

埼玉県の生活保護利用者
の女性は「消費税が増税さ
れたうえに、生活保護費を
削られたら、どうやって生
きたらいいのか」と困惑し
た表情で声を詰まらせなが
ら発言。京都からきた生活
保護利用者の男性（44）は

自公政権による格差と貧困
を広げた構造改革路線の復
活を許してはならない」と
訴えました。

「人権を踏みにする改悪は
断固阻止したい」と訴えま
した。

中央社保協の相野谷安孝
事務局長は、生活保護基準
の引き下げは最低賃金や就
学援助、国民健康保険、介
護保険、住民税とも連動
し、国民生活全般に影響す
ると指摘。▽宣伝・集会の
開催▽厚生労働大臣に抗議

「緊急の学習会と無料生
活相談を各地域ブロックに
分けてつづけている」（東
京社保協）、「12月各地方議
会に陳情した。年末に学習
会を開き各自治体の生活保
護担当者にも案内を出して
参加してもらった」（千葉
県社保協）など活発な発言
がありました。



生活保護基準引き下げ許すなど開かれた緊急集会
で、運動の交流をする人たち17日、東京都千代田区